

●広島県大学図書館協議会研修会 講演

2009年11月20日(金):広島経済大学立町キャンパス

テーマ 「情報リテラシー教育の質的向上を目指して」

講演: 14:10-17:00(170分:質疑応答込)

# 指導サービスの超演出法

## —学生の心を掴む5つのコツ—

仁上幸治(帝京大学総合教育センター 准教授/元早稲田大学図書館)

- 【0】 はじめに
- 【1】 事例発表へのコメント
- 【2】 お悩み
- 【3】 5つの極意
  - 1.大胆な広報作戦
  - 2.適切な例題
  - 3.ポイントをしばった説明
  - 4.魅せるプレゼンテーション
  - 5.お徳感の演出
- 【4】 番外
- 【5】 専門性を高める研修

- 資料1: 講習会必勝法のまとめ
- 資料2: オリエンテーションのまとめ
- 資料3: 例題論のまとめ
- 資料4: 参考文献
- 資料5: 参考サイト
- 資料6: 講師紹介
- \* 質疑応答
- \* アンケート

## ■資料1： 講習会必勝法のまとめ

### 第1部 オリエンテーションの復習

2006.10.14 紀伊國屋書店・日本アスペクトコア  
業務スタッフ研修  
「図書館広報革命－第一印象はオリエンテーションで決まる－」  
紀伊國屋書店本社会議室

#### オリエンテーションのポイント

広報活動とは何か  
図書館員のステレオタイプ  
**お悩み**  
人が集まらない  
どのデータベースを取り上げるべきかわからない  
何を説明すればよいかわからない  
適切な例題をどう作ればよいかわからない  
理解してくれない  
理解したかどうかわからない

#### 5つの極意

大胆な広報作戦  
適切な例題  
ポイントをしばった説明  
魅せるプレゼンテーション  
お徳感の演出

#### 大胆な広報作戦

ポスター  
ホームページ  
予約制  
教授会  
教員ダイレクトメール

#### 適切な例題

特徴をズバリと  
興味ある話題  
直感でわかる  
検索してみたくなる

「専門性」論議の落とし穴  
新しい図書館員像の創造  
プレゼンテーションのポイント

#### 結論

オリエンテーションのイメージチェンジを！  
プレゼンテーションの改善を！  
それを突破口に広報全般の活性化を！  
広報の視点からサービス全般の改善へ！

### 第2部 講習会必勝法 ポイントをしばった説明

よく使う方法  
便利な点を強調  
不便な点は触れない

#### 魅せるプレゼンテーション

会場・機器  
スライド  
配付資料  
話術

#### お徳感の演出

ショートカットキー  
予算  
裏話

#### 番外

ツカミの演出  
イントロの工夫  
アンケートの威力  
拍手の効用  
資料公開と自習支援

#### 専門性を高める研修

ワークショップ型  
フォローアップ重視

### 第3部 例題改善のための13の提案

>> 資料2参照

## ■資料2： オリエンテーションのまとめ

表1. オリエンテーションのよし悪し対照表

#	項目	悪い例	良い例
1	会場	広すぎ	適度
2	準備	ぎりぎり	余裕
3	服装	過度にフォーマル/ラフ	適度にカジュアル
4	イントロ	平凡・失望感	意外性・期待感
5	マイク	音量不足/過多	適度な音量
6	スクリーン	小さい・暗い	大きい・明るい
7	スライド	文字過多で読みにくい	適切な大きさで読みやすい
8	配付資料	雑多・過多・持ち帰り精読用	精選・少量・当日用
9	説明	講義・平板・退屈・眠気	対話・緩急・魅力的・興奮
10	例題	古い・わかりにくい	旬でわかりやすい
11	まとめ	時間切れ・尻すぼみ	ワクワク感・決意
11	アンケート	お願い・非協力的	粗品引き換え・進んで協力

### ●参考文献

仁上幸治「大学図書館員のためのオリエンテーション技法：印象づけを重視した構成・演出の改善の試み」『医学図書館』52(1), 2005.3, pp.15-24.

## ■資料3： 例題論のまとめ

### 情報検索指導における良い例題・悪い例題 《初級編》～素材を集め問題を作り要点を説明する方法～

図書館による情報検索の講習会や授業の中で、わかりやすい説明をするには適切な例題が必要である。しかし、いざ実際に例題を作るとなるとそう簡単ではない。インターネットの検索エンジンで検索できる範囲、無料サイトと有料データベースの差、書誌検索と所蔵検索の違い、検索ツールの種類、電子化以前と以後、などの基礎知識を理解してもらうにはどんな例題が良いのか。どのサイトでどんな検索語と検索式を見せるのが適切か。今回は、これから講習会を始めたい方、改善したい方向けに、良い例題・悪い例題の実例を紹介し、素材の集め方からプレゼンテーションまで、実践上のポイントを提示する。

★初級編は「フライデーナイトセミナー」第5回(2005年5月27日(金))で初演、「図書館利用教育実践セミナー」に改称した第6回(2006年3月18日(土) キャンパスプラザ京都)で改訂再演。

図書館利用教育実践セミナー第6回「情報検索指導における良い例題・悪い例題」

2006年3月18日(土) キャンパスプラザ京都

アンケート結果:「セミナーに参加して「大変良かった」という回答が全体の79%、「良かった」が20%、合計99%。「目からウロコ」「本当に来てよかった!!!」「これほど充実しているとは!」「とても楽しく密度が濃い」「最近参加したセミナーで最も有用な内容」「魅せられた」「視覚」の大切さを実感」「テンポが良くて楽しい」「知りたいことを次々に答えてもらった」「もとは

取れた!」「中上級編もぜひ」「もっと関西で開催を」など。(『図書館雑誌』2005年7月号 p.422-423 を参照)

**表2. 例題の良し悪しの比較対照**

#	項目	悪い例題	良い例題
1	間違った自信	放置する	打ち砕く
2	学習意欲	低下させる	向上させる
3	紙版の扱い	根拠なく優先	守備範囲を明確に
4	電子版の扱い	便利さが曖昧	圧倒的な便利さを実感
5	提示方法	文字ばかり	映像・画像
6	データベースの紹介	便利さより面倒くささ	プリント版では不可能な利便性
7	ヒットするかしないか	すぐ「ない」と結論する	「必ずあるはず」という信念
8	検索語と検索式	思いついたものだけ	あれこれ工夫する
9	システムの不備	弱点として説明	乗り越える迂回路を提示
10	有力サイト	暗記を強要	たどり着き方を教える
11	正解の提示	一例だけ	複数の可能性も
12	起点	検索エンジン一本槍	ポータルサイト
13	検索語の入力	愚直にフルにタイピング	限定力のある語でジャストミート
14	オンライン書店比較	特徴を文章で説明	特徴の出る検索例で
15	検索結果と次の検索	一話完結	連続ワザ
16	ヒットしなかった場合の説明	ヒットしない例題を探す	仮定で進める
17	フレーズ検索	一応の差がわかる程度	圧倒的な限定力を見せる
18	ショートカットキー	説明しない	検索の流れの中で便利さを見せる
19	メモ帳	説明しない	コピーで保存して文献リストを作る素材にする
20	日本語論文検索ツール	雑誌記事索引(書誌のみ)	CiNi(抄録・全文リンクつき)
21	NACSIS-Webcat	簡単にヒットするタイトル	よくあるのに難しい略誌名から
22	ジェンダー視点	無自覚ぶりを露呈	しかるべき人にチェックを頼む
23	品位	受け狙いが下品	適度に上品
24	理論的根拠	経験主義と思いつき	利用者教育の理論
25	オリエンテーション	旧態依然のイメージ	斬新なイメージ

26	講習会	効果不明	効果抜群
27	プレゼンテーション	配付資料主体	スライドショー主体
28	スライド	配付資料をそのまま貼り付け	読みやすさ優先
29	指示語	「これ」の連発(どれ?)	「この〇〇ボタン」と指示
30	文字色	モノクロ(または使いすぎ)	適度にカラフル
31	文字列	ベタ打ち	《 》などの記号を多用
32	図書館員の専門性	怪しい印象	プロの印象

## (2) 例題改善のための13の提案

### 提案1: 映像・画像を活用する

楽しい雰囲気

意外感と期待感

映像の中の本を使う

表紙の絵を見せる

検索サイトの画面を見せる

### 提案2: 視線のコントロール

これってどれ?

図書館員は慣れているボタンでも利用者にはわからない

ない

### 提案3: 解けない例題の活用

知識不足の自覚

自信喪失

学習意欲の喚起

### 提案4: 教科書の例題を作り直す

初心者の目で見直してみる

引っかかるポイントを見つける

引っかからないような設問にするか

引っかかりを乗り越えられるようなヒントを付ける

### 提案5: 電子情報源の便利さ訴求

紙と電子の並存

電子の優位性

上手な使い分け

### 提案6: ポータルサイトを教えよう

野口悠紀雄オンライン

アリアドネ

実践女子大学図書館

### 提案7: 使いにくさを逆手にとって使いやすい例を対比的に見せる

ノイズという概念の理解

トランケーションの理解

### 提案8: 浅い問題を深く味わう解説を

ノイズと漏れとの戦い

誤植もありうる

問題自体の問題点(司書課程向け)

### 提案9: 身近な意外性のある問題に作り直す

マニアックな題材

少数派を重視

アニメ、漫画など

### 提案10: 自分が好きなテーマで例題を作る。

趣味

体験

### 提案11: オリエンテーションと講習会を変える

図書館の指導的サービスを理解させる

情報の探索・整理・表現の拡がり

司書の専門性を印象づける

**提案 12 : ソースアプローチからプロセスアプローチ**

に変える

情報源の羅列的介绍

目的別の手順重視

探索過程の拡がり

**提案 13 : プレゼンテーションを改善する**

見せるから魅せるへ

説明から理解へ

図書館員への共感

**(3) 例題は聞く人の気持ちで作る**

- 1) 専門知識の噛み砕き力
- 2) わかりやすい説明の技術
- 3) 文字と画像の表現力
- 4) ビジュアル表現のセンス
- 5) 初心者の内面への想像力

**(4) 今後の展望**

- 1) 例題モニターネットワーク
- 2) 例題バンク
- 3) 図書館サービス計画研究所(トサケン)

**■資料 4 : 参考文献一覧**

**●図書館利用教育ガイドライン**

- ・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p:¥1500
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.

**●情報検索関係の教科書**

- ・情報科学技術協会編『CD-ROM 版情報検索の演習』日外アソシエーツ, 1997
- ・高鉦裕樹『デジタル情報資源の検索 増訂版』京都大学図書館情報学研究会, 2007.4
- ・原田智子 他『情報検索演習』3訂, 樹村房, 2006. (新・図書館学シリーズ, 6)
- ・緑川信之『情報検索演習』新訂, 東京書籍, 2004.
- ・三輪眞木子『情報検索のスキル—未知の問題をどう解くか』中央公論社, 2003.9 (中公新書 1714)
- ・毛利和弘『文献調査法—調査・レポート・論文必携』第2版, 日本図書館協会発売 2006.

**●情報リテラシー教育**

- ・慶應義塾大学日吉メディアセンター 編『情報リテラシー入門』慶應義塾大学出版会, 2002, ¥1,200 (本体)
- ・学習技術研究会編著『知へのステップ : 大学生からのスタディ・スキルズ』くろしお出版, 2002.4 (CD-ROM 付)
- ・北尾謙治[他]『広げる知の世界—大学でのまなびのレッスン』ひつじ書房, 2005.5, ¥1,600
- ・伊藤民雄・実践女子大学図書館編『インターネットで文献探索 2007 年度版』日本図書館協会, 2007.

**●論文作成**

- ・中尾浩・伊藤直哉『Windows95 版人文系論文作法』夏目書房, 1998, ¥2857.
- ・山内志朗『ぎりぎり合格への論文マニュアル』平凡社, 2001.9
- ・澁谷恵宜『卒業論文—はじめての「卒業論文」ラクラク基本マニュアル』クラブハウス, 2000.7
- ・戸田山和久『論文の教室—レポートから卒論まで—』NHK出版, 2002.11, (NHK ブックス 954) ¥1,120
- ・小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』講談社, 2002.4 (講談社現代新書, 1603)
- ・野口悠紀雄『「超」文章法—伝えたいことをどう書くか』中央公論社, 2002.10 (中公新書, 1662)

**●プレゼンテーション**

- ・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門—プレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーバックスCD-ROM), 講談社, 2003, ¥1,995
- ・ブルボン小林『ぐっとくる題名』中央公論新社, 2006.9 (中公新書)
- ・諏訪邦夫『発表の技法—計画の立て方からパソコン利用法まで—』講談社, 1995 (ブルーバックス B-1099), ¥760.
- ・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書, 2003.7 ¥850.
- ・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術—意図を正しく伝えるための16のルール—』講談社, 1999.3 (ブルーバックス, B-1245)
- ・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術—最強のプレゼンテーション15のルール—』講談社, 2002.10 (ブルーバックス, B-1387)
- ・ボブ・ボイラン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBS ブリタニカ, 1993. ¥1300.
- ・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社, 1999. ¥800. (講談社ブルーバックス B-1245)
- ・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10—話して伝える, 書いて伝える, 図表で伝える』講談社, 2006.10
- ・岩永嘉弘『一行力』草思社, 2004.4

**●情報探索論**

- ・岡澤和世『情報行動研究のコンテキスト』『JOURNAL OF LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE』Vol.16, p27-52

(2002)

- ・岡澤和世「情報ニーズの評価の必要性和問題点:D.Nicholas の論文を中心に」『JOURNAL OF LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE』Vol.12,p43-65(1998)
- ・北原俊一, 安達一寿「自習型Web教材および簡易学習支援システムの開発」, 『社会情報論叢(十文字学園女子大学研究紀要)』, Vol.7 2003, p1-10.
- ・河野浩之 [ほか]著『情報検索とエージェント: インターネットの知的情報技術』東京電機大学出版局, 2002.3
- ・中村幸雄『情報検索理論の基礎—批判と再検討』改訂増補版, 共立出版, 1998
- ・福永智子「講演 図書館利用教育研究における学習心理学的観点: クールソを中心に」『館灯』41, 2003, p.1-6.
- ・渡辺智山「情報探索過程を踏まえた検索システムの開発へ向けて—レファレンス・ブックを利用した探索過程の調査—」『情報の科学と技術』52(3), 107-115 (2002)
- ・D.A. ノーマン, 野島久雄訳『誰のためのデザイン?—認知科学者のデザイン原論—』新曜社, 3300 円
- ・R.S. ワーマン『それは「情報」ではない。』MdN,2001.
- ・R.S. ワーマン『理解の秘密—マジカル・インストラクション』NTT出版,1993.
- ・R.S. ワーマン『情報選択の時代』日本実業出版社,1990./『東京アクセス』伊藤忠ファッションシステム,1984.

#### ●調べ方

- ・井上真琴『図書館に訊け!』筑摩書店,2004.(ちくま新書) ¥777
- ・大串夏身『チャート式情報アクセスガイド』青弓社,2006. ¥1600.-
- ・田中共子『図書館へ行こう』岩波書店,2003.(岩波ジュニア新書) ¥777
- ・時実象一『理系のためのインターネット検索術: ホンモノ情報を素早くみつける』講談社, 2005.2(ブルーバックス) ¥840
- ・時実象一, 小野寺夏生, 都築泉『情報検索の知識と技術—情報検索应用能力試験 2 級対応テキスト』情報科学技術協会. 2007.5, ¥2500.
- ・藤田節子『キーワード検索がわかる』筑摩書房 2007.10(ちくま新書) ¥756.

#### ●パスファインダー

- ・愛知淑徳大学図書館インターネット情報資源担当編『パスファインダー・LCSH・メタデータの理解と実践: 図書館員のための主題検索ツール作成ガイド』愛知淑徳大学図書館, 発売: 紀伊国屋書店, 2005.2
- ・石狩管内高等学校図書館司書業務担当者研究会『パスファインダーを作ろう: 情報を探す道しるべ』全国学校図書館協議会, 2005 (学校図書館入門シリーズ 12) 840 円
- ・鹿島みづき, 山口純代「図書館パスファインダーに見る次世代図書館の可能性」『情報の科学と技術』52(10), 526-537 (2002)
- ・鹿島みづき, 山口純代「図書館パスファインダー—次世代図書館に生かせる古くて新しい図書館の技術」『館灯』42, 2003, p35-46.
- ・河上純子, 仲尾正司, 仁上幸治 他「パスファインダーバンクの実用化に向けて—Web 版共同利用ナビゲーションシステム開発計画案」(私立大学図書館協会東地区部会 館長会・研究講演会, 研究分科会報告大会記録 2001 年度『私立大学図書館協会会報』(通号 118) [2002.11])
- ・仲尾正司, 中村亜日香, 山田かおり, 他「パスファインダーバンク実用化とその経緯—Web 版共同利用ツールシステムを立ち上げて」『私立大学図書館協会会報』122, 2004.8, p147-151.
- ・仁上幸治「電子パスファインダーをどう作るか—情報探索支援ツールの企画から公開まで—」『短期大学図書館研究』25, 2005.3, p.59-70.
- ・村田輝 他「教育情報案内パスファインダーによるレファレンスサービスの Web への展開—東京学芸大学附属図書館における教育情報ポータルサイト“E-TOPIA”」(国際学術コミュニケーション特集)『大学図書館研究』(67) [2003.3] p.37-49.
- ・伊藤白, 小澤弘太「国内における Web 上パスファインダーの現況調査」『情報の科学と技術』58(7), p. 361-366 (2008)

#### ●講習会

- ・梅原由紀子「都立中央図書館の利用教育サービス—OPAC 検索講習会と図書館活用講座を実施して」(特集 図書館のホームページ) みんなの図書館. (通号 299) [2002.3] 56~65
- ・菅谷明子『未来をつくる図書館—ニューヨークからの報告—』岩波書店, 2003. (新赤版 837)
- ・牟田静香『人が集まる! 行列ができる! 講座、イベントの作り方』講談社, 2007.4. ¥840(講談社+α 新書 334-1C)
- ・米澤 誠; 阪脇 孝子; 高橋 菜穂子「情報探索マニュアルの作成と職員向け講習会の実施: 東北大学附属図書館での事例報告」大学図書館研究. (69) [2003.12] 34~41

#### ●教科書刊行(大学編)

- ・川崎良孝編集「大学生と『情報の活用』: 情報探索入門」増補版, 京都大学図書館情報学研究会. 2001
- ・慶応大学日吉メディアセンター編『情報リテラシー入門』東京: 慶應義塾大学. 出版会. 1992.
- ・伊藤民雄・実践女子大学図書館編『インターネットで文献探索 2007 年度版』日本図書館協会, 2007.
- ・東京大学情報基盤センター学術情報リテラシー係『ネットでアカデミック』
- ・東京農工大学図書館『科学技術情報検索の実際』2004 年版
- ・東北大学図書館『東北大学生のための情報探索の基礎知識 基本編 2009』東北大学図書館, 2009.
- ・東北大学図書館『東北大学生のための情報探索の基礎知識 自然科学編 2005』東北大学図書館, 2004.
- ・東北大学図書館『東北大学生のための情報探索の基礎知識 人文社会科学編 2007』東北大学図書館, 2007.

<http://www.library.tohoku.ac.jp/mylibrary/tutorial/2009/>

・東北大学図書館『理・工・医・薬系学生のための学術情報探索マニュアル:電子ジャーナルから特許・会議録まで』丸善, 2006.

#### ●指導法

- ・岡本浩一『上達の法則—効率のよい努力を科学する』PHP 研究所, 2002.5 (PHP 新書) ¥714
- ・多和田悟『犬と話をつけるには—駄目な犬の困った飼い主にならないために』文藝春秋, 2006.6, (文春新書)
- ・中野民夫『ワークショップ—新しい学びと創造の場—』岩波書店, 2003.04 (岩波新書)
- ・畑村洋太郎『「失敗学」事件簿—あの失敗から何を学ぶか』小学館, 2006.4, ¥1300
- ・吉田新一郎『効果 10 倍の<教える>技術: 授業から企業研修まで』PHP 研究所, 2006 (PHP 新書)

#### ●『情報の達人』の歴史

- ・仁上幸治『「図書館の達人」から『情報の達人』へ—利用者教育映像教材の進化 15 年の集大成』『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像—『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52.
- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』1992.11, pp.798-799.
- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8, 1993.8, pp.553-556.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3
- ・『情報の達人』ホームページ: <http://www.kinokuniya.co.jp> (左メニュー下方に入口)

## ■資料5 参考サイト一覧

### 【1】情報探索 3 大ポータルサイト

1)野口悠紀雄オンライン「インターネット情報源」: <http://www.noguchi.co.jp/>

>インターネット情報源: <http://www.nogulabo.net/newDB/member/>

2)アリアドネ 二木麻里氏(翻訳家): <http://ariadne.jp/>

3)実践女子大学図書館「インターネットで文献探索」: <http://www.jissen.ac.jp/library/>

>情報検索: <http://www.jissen.ac.jp/library/ir-link.htm>

>もっと調べ物をしたい方は >> インターネットで文献探索

<http://www.jissen.ac.jp/library/frame/index.htm>

### 【2】Google 関連サイト

1)実験室: Google のプロトタイプ: <http://labs.google.com/>

2)soople: Google 専用コマンド不要の検索フォーム: <http://www.soople.com/>  
換算電卓機能: [http://www.soople.com/soople\\_intcalchome.php](http://www.soople.com/soople_intcalchome.php)

3)Google Hacks: Google メニュー検索: <http://dicwizard.jp/jamming/search.php>

4)GAPS: Google API Proximity Search: 近接検索

<http://www.staggeration.com/cgi-bin/gaps.cgi>

5)Google 関連メーリングリスト

・Google Friends: <http://www.google.com/contact/newsletter.html>

・googlefun: <http://www.freeml.com/ctrl/html/JoinForm/googlefun@freeml.com>

### 【3】検索サイトの最新情報

1)SEM リサーチ: 検索エンジンの最新情報ポータルサイト

<http://www.sem-research.jp/sem/>

2)Search Engine Showdown: 検索エンジンの最新ニュースと比較データ

<http://searchengineshowdown.com>

3)検索エンジンの検索: 世界中の検索エンジンを探そう検索エンジン

<http://www.searchenginecolossus.com/>

4)shikencho.com 検索の鉄人 関裕司氏の「検索テクニク」

<http://www.shikencho.com/iron/irontext.php>

### 【4】Google 以外の主要な検索サイト

1)AlltheWeb: <http://www.alltheweb.com/>

ノルウェーの Fast 社開発

2)AltaVista: <http://www.altavista.com/>

1995 年 12 月登場のロボット型検索エンジンの老舗。1999 年から画像検索の老舗。

3)AAA!Cafe: <http://aaacafe.ne.jp>

部分文字列検索が可能な「N グラム」方式

### 【5】パスファインダー (一例)

・国立国会図書館-調べ方案内: [http://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/](http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/)



- ・私立大学図書館協会企画広報研究分科会パスファインダーバンク：<http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/>
- ・国立国会図書館「公共図書館パスファインダーリンク集」：<http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/pathfinderlinks.html>
- ・Dublin Core Metadata Initiative (DCMI)：<http://dublincore.org/>
- ・統計データポータルサイト <http://portal.stat.go.jp/>
- ・情報科学技術協会：<http://www.infosta.or.jp/>
- ・電子政府の総合窓口：<http://www.e-gov.go.jp/>

#### (大学図書館)

- ・E-TOPIA(東京学芸大学附属図書館)教育系電子情報ナビゲーションシステム：

[http://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/index\\_p.html](http://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/index_p.html)

- ・愛知淑徳大学図書館パスファインダー：

[http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/netresource\\_j/pf.j.html](http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/netresource_j/pf.j.html)

- ・千葉大学「授業資料ナビゲータ」

<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/pathfinder/>

- ・三重大学三重大学附属図書館 パスファインダー一覧

<http://www.lib.mie-u.ac.jp/pathfinder/index.html>

- ・名古屋大学附属図書館「情報への道しるべ (パスファインダー)」

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/literacy/>

#### (公共図書館)

- ・茨城県立図書館「茨城県の企業情報」

<http://www.lib.pref.ibaraki.jp/home/chousa/ibaraki.htm#02>

- ・埼玉県立図書館「埼玉県内の企業に関する資料」

[https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib\\_doc/saitama/other/kaisya.html](https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/saitama/other/kaisya.html)

- ・広島県立図書館「広島県内の企業」

<http://www.hplibra.pref.hiroshima.jp/hplib/businessshirabekata/2kigyoku/kigyoujyouhou.htm#kennai>

- ・愛媛県立図書館「企業情報を探すには・・・(愛媛県内)」

<http://www.pref.ehime.jp/160kyouiku/190tosyokan/00000841020725/business/guide/ehimekigyoku.htm>

- ・宮崎県立図書館「調べる 宮崎県内企業情報」

[http://www3.lib.pref.miyazaki.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT\\_template=AC020000&WIT\\_oid=icityv2::Contents::1812](http://www3.lib.pref.miyazaki.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT_template=AC020000&WIT_oid=icityv2::Contents::1812)

- ・鳥取県立図書館「企業情報を入手するには」

[http://www.library.pref.tottori.jp/business/m\\_kigyo\\_2007.html](http://www.library.pref.tottori.jp/business/m_kigyo_2007.html)

- ・島根県立図書館「企業情報を調べるための資料」

<http://www.pref.shimane.lg.jp/toshokan/reference/business/kigyoku.html>

- ・千葉県立中央図書館 千葉県資料室「千葉県 夏の高校野球」展示のお知らせ」

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/information/central/tenji20080718.html>

- ・千葉県立中央図書館 東部図書館「展示 情熱の国ブラジル」のお知らせ」

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/information/east/tenji0807.html>

- ・岐阜県図書館「しらべかた案内」：<http://www.library.pref.gifu.jp/sirabekata/top.htm>

#### 【6】教材サイト

- ・TOSS インターネットランド：<http://www.tos-land.net/index2.php>

- ・世界の指導案：<http://jcultra.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/LPIW/>

- ・教育情報ナショナルセンター：<http://www.nicer.go.jp/>

- ・EDUREF：<http://www.eduref.org/>

- ・Library Explorer：<http://explorer.lib.uiowa.edu/>

- ・Internet Public Library：<http://www.ipl.org/>

- ・University of Michigan School of Information. >> Pathfinders

- ・WARP (Web Archiving Project)：NDL インターネット資源選択的蓄積実験事業：<http://warp.ndl.go.jp/>

#### 【7】講習会教材公開の先進事例

- ・愛知淑徳大学図書館：<http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/>

- ・京都大学図書館<全学共通科目「情報探索入門」>：[http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/home\\_jm.html](http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/home_jm.html)

- ・九州大学図書館<情報リテラシー学習支援>：<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/index.html>

- ・東京大学図書館<ネットでアカデミック on Web>：<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>

- ・東京工業大学図書館<講習会案内>：<http://www.libra.titech.ac.jp/>

- ・東京学芸大学図書館<講習会情報>：<http://library.u-gakugei.ac.jp/>

- ・京都精華大学情報館<マルチメディア講演会>：<http://www.kyoto-seika.ac.jp/johokan/>

- ・東北大学図書館<情報探索の基礎知識>：<http://www.library.tohoku.ac.jp/>

- ・日本女子大学図書館<利用案内>[eラーニング]：<http://www.lib.jwu.ac.jp/>

- ・明治大学図書館<図書館活用法>：<http://www.lib.meiji.ac.jp/>

#### 【8】教育用データベース提供

- ・データベース振興センター『情報の検索と活用』第2版,2005.3.：<http://www.dpc.or.jp/>

授業・講習会用ソフトの複数貸与等のサービスあり。

#### 【9】画像ネタの宝庫

- ・American Library Association (ALA)：<http://www.ala.org/>

#### 【10】使えるフリーソフト

- ・Google バック StarSuite:ワープロ、スプレッドシート、プレゼンテーション、その他：<http://www.google.com/>

- ・OpenOffice：プレゼンテーションソフト「Impress」を含む統合オフィスソフト Sun Microsystems Inc.：

<http://www.openoffice.org/>

- ・PrimoPDF 日本語版:PDF形式変換ソフト: <http://www.xlsoft.com/jp/products/primopdf/index.html>
- ・データ便:ファイル無料転送サービス: <http://www.datadeliver.net/>
- ・アンケート君:アンケート集計ソフト: <http://www.vector.co.jp/soft/win95/business/se159548.html>
- ・富士通アクセシビリティ・アシスタンス:ウェブ診断ソフト: <http://jp.fujitsu.com/about/design/ud/assistance/>

**【11】プレゼンテーションソフトを使い方を学ぶ(製造者ホームページ上のオンライン説明)**

MicrosoftOffice Online: <http://office.microsoft.com/ja-jp/FX100647101041.aspx>

2007 Office system の初級トレーニング:PowerPoint 2007 を活用する

<http://office.microsoft.com/training/training.aspx?AssetID=RC100687671041>

Office 2003 の初級トレーニング:PowerPoint の各機能の使い方

<http://office.microsoft.com/training/training.aspx?AssetID=RC010413011041>

Office 2003 の中級トレーニング:PowerPoint: 洗練されたフローチャートの作成

<http://office.microsoft.com/training/training.aspx?AssetID=RC010198841041>

Office 2003 の上級トレーニング:PowerPoint: マスタを使用して効率的にデザインする

<http://office.microsoft.com/training/training.aspx?AssetID=RC011536491041>

**【12】プレゼンテーションソフトを使い方を学ぶ(一般サイト)**

Presentation.jp(プレゼンテーション総合サイト): <http://www.presentation.jp/index.html>

資料作成: [http://www.presentation.jp/prjp/knowhow/siryuu/trap\\_ppt.html](http://www.presentation.jp/prjp/knowhow/siryuu/trap_ppt.html)

**【13】注目の研究所**

デジタルメディア研究所: <http://www.demeken.net/weblog/>

橘川幸夫: [http://www.demeken.net/weblog/2005/09/post\\_10.html](http://www.demeken.net/weblog/2005/09/post_10.html)

**■資料6: 講師紹介(最近の活動から)**

**仁上幸治** (にかみ・こうじ): 帝京大学総合教育センター准教授/元早稲田大学図書館司書/非常勤講師(東京家政大学・亜細亜大学司書講習)

◎ホームページ: <http://www.dcn.s.ne.jp/~bbutler/nikami-home/> ◎電子メール: [nikamikoji@yahoo.co.jp](mailto:nikamikoji@yahoo.co.jp)

◎図書館サービス計画研究所(略称「トサケン」)代表: <http://tosaken.blogspot.com/> ★ML 会員募集中!

**◎論文・記事(単著)(2000-)**

- ・「コンビニに負けない生涯学習支援サービスを! -市民の情報リテラシーと社会教育-」『月刊社会教育』2000.10, pp.22-27.
- ・「図書館マーケティングとプランニング・プロセス論-経営革新をめざす『実行可能な方法』の開発と導入-」『専門図書館』no.192, 2001.3, pp.8-18.
- ・「軽いノリと少しの勇氣-利用者満足度調査は自信と希望の証-」『図書館雑誌』2002.11, pp.872-875.
- ・「情報リテラシー教育と新しい図書館員像-『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52. (同誌ホームページ掲載)
- ・「司書課程の社会的評価の向上を目指す切り札-情報検索演習における「受講生による授業評価」の集計結果報告-」『法政大学教職資格課程年報』(法政大学キャリアデザイン学部紀要別冊)vol.1, 2003年度, 2004.3.30, pp.66-76.
- ・「これは危機ではない?-困った利用者よりずっと困った問題群-」『図書館雑誌』98(11)[2004.11], pp.838-841.
- ・「総本山の進まない構造改革-専門職崩壊のデフレスパイララー」『大学の図書館』24(2), 2005.2. (特集大学図書館と日本図書館協会)pp.28-31.
- ・「オリエンはエンタメだ! -素敵な印象を伝えるプレゼンテーションを-」『学図研ニュース』No.229, 2005.3.1 (特集オリエンテーション)pp.2-5.
- ・「大学図書館員のためのオリエンテーション技法-印象づけを重視した構成・演出の改善の試み-」『医学図書館』52(1), 2005.3 (特集:情報リテラシー・サービス)pp.15-24.
- ・「学術情報リテラシー教育における広報イメージ戦略-司書職の専門性をどう訴求するか-」『情報の科学と技術』55(7), 2005.7, (特集:図書館の発信情報は効果的に伝わっているか?)pp.310-317.
- ・「電子パスファインダをどう作るか-情報探索支援ツールの企画から公開まで-」『短期大学図書館研究』25, 2006.3, pp.59-70.
- ・「『図書館の達人』から『情報の達人』へ-利用者教育映像教材の進化 15年の集大成」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・「ライブラリアンのための広報戦略マニュアル-専門性を訴求する5つのポイント-」『専門図書館』No.225 2007.9, pp.88-93.
- ・「せめて大江戸一家の心意気でトサケン司書職の「奇跡のV字回復」を目指す-」<聞き手:鈴木正紀>『大学の図書館』410, 27(1), 2008.1, pp.4-8.
- ・「デジタルリソースのフル活用へ向けて-講習会の刷新とオンデマンド教材の開発-」『館灯』46, 2008.3, pp.22-38. (私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会講演記録, 2007.12.04, 名古屋ガーデンパレス)
- ・「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けて-研究室内知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試み-」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5. 全文: [http://www.wul.waseda.ac.jp/Libraries/fumi/f\\_index08.html](http://www.wul.waseda.ac.jp/Libraries/fumi/f_index08.html)
- ・「情報ハンドリングの秘伝書-図書館員を変えるイマージトレーニングのために-」『情報管理』51(11), 2009.2, 850-853.
- ・「もっと明るく楽しいメディアリテラシー教育を」『学図研ニュース』No.277, 2009.3, pp.11-15.
- ・「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編1)-レイアウト改善の5つのポイント-」『館灯』47, 2009.3, pp.46-54.

- ・「なぜ研修の成果が出ないのかー現場で活かすための7つの秘訣ー」『館灯』47, 2009.3, pp.124-129.
- ・「グッズが図書館を元気にする！ー暗い状況でも楽しめる最強秘密兵器ー」『大学の図書館』28(5),426,2009.5, pp.70-75(聞き手:鈴木正紀)
- ・「図書館サービス計画研究所(トサケン)メーリングリスト」『医学図書館』56 巻 3 号(2009 年 9 月)「図書館員のためのデジタル・パートナー:医学図書館員に役立つメーリングリスト・メールマガジン特集(2009 年版)

#### ◎単行書(共著)

- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会編『図書館広報実践ハンドブッケー広報戦略の全面展開を目指してー』日本図書館協会発売, 2002.9
- ・戸田光昭[他]共著『改訂専門資料論』樹村房, 2002.10(新図書館学シリーズ第8巻)
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3
- ・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』日本図書館協会, 2005.6(菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, 8)[シリーズ第2期8, 2008.1.31]

#### ◎教材ツール開発(企画・監修)

- ・私立大学図書館協会企画広報研究分科会:共同制作ポスター・葉・掲示用紙・ブックカバー, 1984-
- ・日本図書館協会:「コニーちゃん」ポスター・葉・掲示用紙, 1998-99.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会:「りてらしい」グッズ(T シャツ, トレーナ, キャップ, バッグ, エプロン, ブックカバー)2002-
- ・ライブラリービデオシリーズ『図書館の達人』全6巻, 紀伊国屋書店, 1992.10, 1993.7.
- ・ライブラリービデオシリーズ『新図書館の達人』全6巻, 紀伊国屋書店, 1998.3, 2002.11.
- ・ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』DVD 版全3巻, 紀伊国屋書店, 2007.2.28. (ビデオ・スライド・テキスト)

#### ◎最近の講演・発表等(2005- )

##### 2005

- ・2005.1.20/1.28-NII 学術情報リテラシー教育担当者研修:講演「学術情報リテラシー教育における広報戦略」大阪大学/国立情報学研究所
- ・2005.5.27-日本図書館協会フライデーナイトセミナー第5回:講演「情報検索指導における良い例題・悪い例題～素材を集め問題を作り要点を説明する方法～」日本図書館協会
- ・2005.10.10-ほんのう学校図書館まつり特別講義「図書館で情報の世界への窓を開けるーポスターからパスファインダーまでー」駿河台大学
- ・2005.11.1/11.17-学術情報リテラシー教育担当者研修「学術情報リテラシー教育における広報戦略」国立情報学研究所/大阪大学
- ・2005.11.15-医学図書館研究会・継続教育コース「新しいオリエンテーション技法ー利用者をひきつける構成と演出」東京歯科大学
- ・2005.11.17-近畿地区医図協・薬図協・病図協共催シンポジウム「利用者教育におけるプレゼンテーションの実際」大阪大学
- ・2005.12.7-文部科学省東海北陸地区図書館地区別研修「情報活用支援サービスの最新技法」福井県立図書館

##### 2006

- ・2006.03.18-日本図書館協会図書館利用教育委員会図書館利用教育実践セミナー「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)～素材を集め問題を作り要点を説明する方法～」キャンパスプラザ京都
- ・2006.10.14-紀伊国屋書店・日本アスペクトコア 業務スタッフ研修「図書館広報革命ー第一印象はオリエンテーションで決まるー」紀伊国屋書店本社会議室
- ・2006.11.16-兵庫県大学図書館協議会「図書館広報を再設計するー専門職として生き残るための5つの特効薬ー」兵庫県立大学
- ・2006.11.22-図書館総合展フォーラム講演会「情報検索指導における良い例題・悪い例題(中級編)ー専門分野別データベースの特徴を紹介する方法ー」(日本図書館協会主催)パシフィコ横浜

##### 2007

- ・2007.03.31-[発表] 日本図書館情報学会春季研究集会「図書館利用者プロフィールの再検討ー情報探索支援システム設計のための概念モデルー」大阪市立大学梅田サテライト
- ・2007.06.01- 専門図書館協議会全国研究集会「ライブラリアンのための広報戦略マニュアルー専門性を訴求する5つのポイントー」科学未来館
- ・2007.07.10-私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会図書館広報実践講座パート1「パスファインダーをつくる!」国立情報学研究所
- ・2007.08.24-私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会研究会「情報リテラシー教材が図書館を変えるー情報の達人」が切り拓いたものー」熊本学園大学
- ・2007.09.21-岐阜県図書館・岐阜大学図書館講習会「パスファインダーを作る(入門編)」岐阜県図書館
- ・2007.10.18-専門図書館協議会関西地区協議会イブニングセミナー「ライブラリアンのための広報戦略マニュアルー専門性を訴求する5つのポイントー」大阪商工会議所
- ・2007.11.08-図書館総合展フォーラム講演会「図書館グッズが利用者と館員を変える！ーイメージ戦略の先進事例ー」(埼玉福祉会主催), パシフィコ横浜: 10:30~12:00 第3会場
- ・2007.11.08-図書館総合展フォーラム講演会「情報検索指導における良い例題・悪い例題(応用編)ーデータベースの特徴をどう紹介するかー」(日本図書館協会主催), パシフィコ横浜 15:30-17:00 第5会場
- ・2007.11.21-大学図書館近畿イニシアティブ中級研修「大学図書館における広報戦略と情報発信ーホームページ、広報誌、利用案内・・・あなたの図書館は大丈夫ですか?ー」大阪市立大学学術情報総合センター

- ・2007.12.04- 私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会「デジタルリソースのフル活用へ向けてー講習会の刷新とオンデマンド教材の開発ー」名古屋ガーデンパレス

## 2008

- ・2008.02.06-千葉県立中央図書館平成 19 年度レファレンス研修会(レファレンスサービス専門研修)「パスファインダー超簡単講座ー新しい案内ツールをどう作るかー」千葉県総合教育センター
- ・2008.03.01-三島市立図書館平成 19 年度図書館講座「目からウロコの《超簡単》情報活用講座ー人に伝える・人と繋がる・人と学ぶー」三島市立図書館
- ・2008.03.16-日本図書館協会 図書館利用教育実践セミナー(第11回)「利用者はなぜ論文検索ができないのかー躓かせないための4つの指導ポイントー」キャンパスプラザ京都
- ・2008.5-7[講義と演習]TRC ライブラリー・アカデミー(2008年度:隔週火曜日開講、全6回) TRC
- ・2008.08.19-三重県司書・司書教諭研修講座「魅せる教育力養成講座ー情報専門職に必須のプレゼン技を磨くー」三重県立美術館/三重県総合教育センター
- ・2008.08.20-長野県図書館協会大学専門図書館部会図書館研究会研修会「少人数館だからできる指導サービスー創意工夫で効果を上げる7つのコツー」清泉女学院大学(長野県長野市)
- ・2008.09.04-私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会図書館実務担当者研修会「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編1)ーレイアウト改善の5つのポイントー」レイクサイド入鹿(愛知県犬山市)
- ・2008.09.05-同 全体講義2「なぜ研修の成果が出ないのかー現場で活かすための7つの秘訣ー」
- ・2008.09.20-学校図書館問題研究会・岡山支部例会「作ることで学べるメディアの便利さと楽しさー目からウロコの《超》実践的演習授業ー」岡山市勤労者福祉センター
- ・2008.09.21-岡山県大学図書館員研修会「ワンランク上の情報リテラシー教育へ！ーオリエンテーションと講習会を改善する7つのコツー」岡山県総合グラウンドクラブ 第二研修室
- ・2008.10.24-大阪府図書館司書セミナー「パスファインダー超簡単講座ー新しい案内ツールをどう作るかー」大阪府立中央図書館
- ・2008.10.30-地方議会図書室等職員セミナー「あなたの図書館はなぜ魅力的でないのかー利用促進と存在感訴求のための広報戦略ー」都道府県会館
- ・2008.11.01-紀伊國屋書店・日本アスペクトコア 業務スタッフ研修「図書館講習会必勝法ー学習効果と満足度が 50%アップする5つの極意ー」紀伊國屋書店本社会議室
- ・2008.11.18-埼玉県図書館協会郷土資料研修会「パスファインダー超簡単講座ー新しい案内ツールをどう作るかー」さいたま市立北図書館
- ・2008.12.21-国立教育政策研究所 FD 実践研修「図書館利用教育の普及をめざす広報戦略ー協力者・推進者を増やすための実践的教訓ー」愛媛大学(愛媛県松山市)

## 2009

- ・2009.01.17-神奈川県高教組川崎支部教育研究集会「明るいメディアリテラシーの育て方ー授業の素材と演出の5つのポイントー」向の岡工業高校(神奈川県川崎市)
- ・2009.01.22-国際子ども図書館説明聴取会「人と人を繋ぐプロの技を磨くー図書館グッズからパスファインダーまでー」国際子ども図書館(東京都台東区・上野)
- ・2009.03.13-鳥取県学校図書館司書研修「図書館員のためのプレゼン実習ー情報専門職の提案力・指導力を磨くー」鳥取県教育センター(鳥取市)
- ・2009.03.14-[コーディネーター]日本図書館協会 図書館利用教育実践セミナー(第13回)in 京都「図書館員のメディア活用力を問うーアニメ世代にどう教えるかー」キャンパスプラザ京都(京都市)
- ・2009.07.10-私立大学図書館協会東地区部会研究部研修分科会「次世代図書館員のための自己アピール講座ー存在感訴求力をどう身に着けるかー」埼玉大学東京ステーションカレッジ
- ・2009.07.24-私立短期大学図書館協議会東北地区協議会研修会「図書館を見違えるほど魅力的に！ー少人数職場ならではの即効変身術ー」いわきワシントンホテル椿山荘
- ・2009.8.7-栃木市図書館レファレンス研修「魅せるレファレンスサービスの極意ープロの存在感をどう訴求するかー」栃木市図書館(後援:紀伊國屋書)
- ・2009.09.10-北海道図書館大会「あなたの図書館はなぜ魅力的でないのかー利用促進と存在感訴求のための広報戦略ー」ホテルライフオーブ札幌
- ・2009.09.11-図書館サービス計画研究所(トサケン)札幌会員有志「パスファインダーを考える図書館セミナーin札幌」札幌学院大学社会連携センター
- ・2009.09.12-旭川医科大学図書館主催/旭川市図書館共催「図書館をもっと元気に！ー“グッズ”活用による新発想広報のすすめー」旭川市中央図書館
- ・2009.10.02-鹿児島県大学図書館協議会「パスファインダー超簡単講座ー新しい案内ツールをどう作るかー」かごしま県民交流センター(鹿児島市)
- ・2009.11.12-図書館総合展フォーラム/図書館サービス計画研究所(トサケン)主催シンポジウム基調講演「図書館グッズが利用者と館員を元気にする！ー実例発表・討論・物々交換会ー」パシフィコ横浜
- ・2009.11.20-広島県大学図書館協議会研修会「指導サービスの超演出法ー学生の心を掴む5つのコツー」広島経済大学立町キャンパス

### ★講演予定(一部未定)

- ・2010.01.21-私工大懇話会図書館連絡会(演題未定)
- ・2010.09.02-3-私短図協全国研修会(演題未定)
- ★著作と講演のリストや関連資料はホームページ参照(一部は全文リンクあり)。

以上(配付資料/2009.11.15) ■□■